

中学校統合後の制服について（案）

1 制服の現状と今後の方向性について

現 状 （別紙写真参照）

- ・ 男子：東中、西中の冬服は詰襟（学ラン）、夏服はワイシャツ
 樺台中：冬服はブレザーにパンツ、夏服はワイシャツにパンツ
- ・ 女子：東中、西中の冬服はセーラー服、夏服はブラウスにボウタイ
 樺台中：冬服はブレザーにスカート、夏服はワイシャツにスカート

制服の種類

- ・ サンプルケース（別紙写真参照）

方向性

新しい中学校の制服における方向性を検討するうえで、令和7年4月の西中学校と樺台中学校の統合、次に令和12年4月の東中学校の統合となる観点から、下記の検討が必要と考えます。

1 新しい制服を採用する場合の導入時期

(1) 令和7年4月～＜新校開校時＞

この令和7年4月から新しい制服を採用するには、採用するメーカーによりますが、大手メーカーの場合は採用する制服を令和6年6月に決定する必要があります。また、埼玉県内の中小メーカーであれば令和6年7月までに決定する必要がある。

※令和6年6月決定とは、制服の種類が決定し、その後エンブレムやボタンなどのカスタマイズを行い、試作品を作成し最終的に決定するため、制服の種類を決定するのは令和5年12月頃の予定。

(2) 令和7年度以降＜新校開校後＞

(3) 令和12年4月～＜東中統合後＞

2 ジェンダーフリー発想

- ・ 自由に選べるジェンダーフリー制服の導入
 性的マイノリティに対する配慮や防寒対策、自転車通学者への配慮

3 決定者を生徒・児童とする場合

・投票による決定

各業者からプレゼンテーション

特定の会場（中央公民館等）にサンプルを展示し、生徒・児童及び保護者にご覧いただき、投票を行う。その後、制服・体操着班、統合準備委員会にて決定する。

なお、この場合サンプル展示期間を2週間程度設け、その後投票を行うなどの時間を要する。

4 決定者を統合準備委員会とする場合

・統合準備委員会により決定

統合準備委員会若しくは制服・体操着班会議会場で各業者からプレゼンテーション

統合準備委員会若しくは制服・体操着班の会議会場で各業者によるサンプルを展示、プレゼンテーションを行い、統合準備委員会にて決定する。